

平成25年6月13日

自由民主党  
ユニバーサルデザイン社会推進議員連盟  
会長 石破 茂 様

公益社団法人全国精神保健福祉会  
理事長 川崎洋子

## ユニバーサル社会推進に関する要望

日頃より、精神障がい者と家族の福祉向上について、深いご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

当会は、精神障がい者の家族の全国組織です。47の都道府県家族会連合会を正会員とし、傘下に約1200の家族会、約3万人の家族が参加しています。

ユニバーサル社会の推進により、障がいがあってもなくても、誰もが地域社会の一員として安心して暮らせる社会ができることを期待しております。

### 記

#### 1 公共交通機関の割引対象に精神障がい者を加えてください

JRや航空運賃などの割引は、身体・知的障がい者を対象としており、精神障がい者は対象外となっています。地方鉄道・バスについても地域格差があります。公共交通機関へのアクセスがしやすくなることで、障がい者の社会参加が促進されると考えます。障がい者の公共交通機関利用を促進する観点からも、運賃割引が必要であると考えます。

#### 2 公共交通機関の駅構内の案内や乗車券の購入機などは、わかりやすさや使いやすさに配慮してください

行き先案内や機械の操作など、スマートなデザインになっていますが、文字が小さくわかりにくいこともあります。障がい者にも高齢者にも優しく利用しやすいものにしてください。

#### 3 心のバリアフリーを広めてください

精神障がいをもつ人が、病院から退院しグループホームやアパートを利用して地域生活をするためには、一般市民への精神障がい者に対する理解の促進が必要です。また、義務教育の段階から精神疾患への理解を深めることで、早期発見、早期治療につながります。